

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れの方針）

経済情報学科は、経済、経営、そして情報の3分野を併せて学ぶことを特徴とし、基礎的理論と実践的・応用的知識を兼ね備え、現代社会のニーズに応えられる人材の育成を目標としています。

このような教育理念・目標に基づき、経済情報学科は以下のような人を求めています。

（経済系に関心のある人）

- ・ 日常の経済現象や経済全体の基礎的考え方や理論を理解し、また各種資料、経済統計を活用して、実際の経済を考察、分析したい人
- ・ 経済学の知識を統合して、経済問題を世界的観点から考え、責任ある選択・意思決定ができるようになりたい人。また、経済学の知識を活かした社会貢献・地域貢献を考えている人

（経営系に関心のある人）

- ・ 企業の仕組みを理解し、実際の企業行動の分析などに興味がある人
- ・ 経済社会の主役は企業である現実を直視して、責任ある選択・意思決定ができるようになりたい人。また、企業の社会的責任に関心があり、社会貢献や地域貢献を考えている人
- ・ 企業の経済活動を記録・計算して経営活動の成果を外部に報告する仕組みの理解や、会計データを企業の経営管理に役立たせるための知識や知恵の修得をめざす人

（情報系に関心のある人）

- ・ 現代社会の基盤となっている情報システムネットワークの基本原理を学び、経済社会の諸課題を解決する情報システムの設計から運用までを担当する能力を身につけたい人
- ・ 情報関連の企業・組織における研究開発、企業等の組織における情報システムの管理・運用、企業等の組織における情報システムを駆使した経営への参画において活躍することをめざす人